

濃厚飼料中のNFC濃度を調整して 但馬牛の増体性向上！

【背景・目的・成果】

但馬牛では、子牛市場出荷時の日齢増体が去勢牛で0.9kg未満の牛が全体の約25%を占めています。これらの牛は、肥育しても枝肉重量が360kg以下で軽量な場合が多く、さらに、脂肪交雑も低く、肥育農家の経営を苦しめています。

そこで、但馬牛の増体性の斉一化を図るために、子牛市場で発育の良くない去勢牛に対して、**濃厚飼料中の非繊維性炭水化物(NFC)濃度を肥育の全期間を通して、現行の肥育マニュアルよりも5%低下させたところ、肥育中・後期の濃厚飼料摂取量が増加し、枝肉重量が35kg以上重くなること**が分かりました。

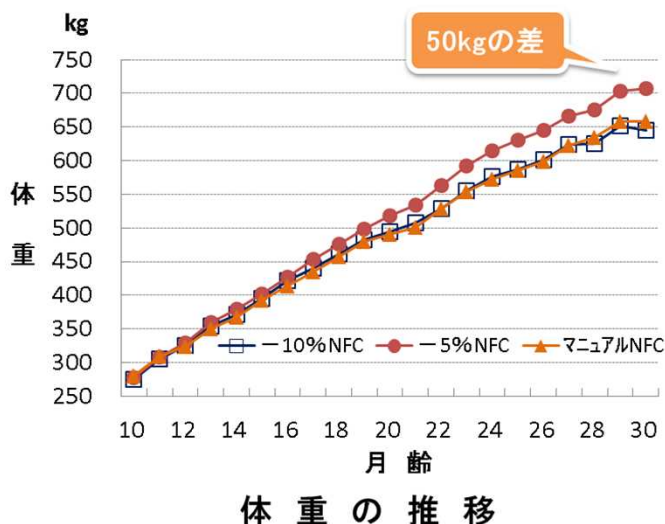
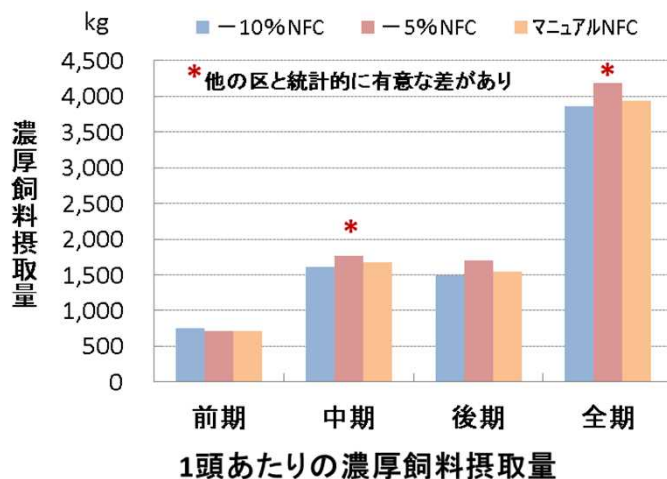
※非繊維性炭水化物(NFC)：飼料に含まれる糖やデンプンなどの炭水化物。トウモロコシに多く含まれます。



【研究の方法】

子牛市場での日齢増体重が0.9kg未満の去勢子牛21頭を用いて、但馬牛去勢肥育マニュアルの飼料を給与する区(7頭)、マニュアル飼料に比べてNFC濃度が5%低い飼料を給与する区(7頭)、10%低い飼料を給与する区(7頭)の3区を設けました。

マニュアル飼料のNFC濃度は、乾物中で前期50%、中期55%、後期60%です。



枝肉成績

項目	-10%NFC	-5%NFC	マニュアルNFC
枝肉重量(kg)	393.7	434.0	399.0
脂肪交雑値	7.1	7.2	6.7
肉色	3.9	3.7	3.8
ロース芯面積(cm ²)	52.9	50.7	48.3
バラ厚(cm)	6.7	7.1	7.2
皮下脂肪厚(cm)	2.6	2.5	2.3
歩留基準値(%)	73.5	73.1	73.4

【技術の活用】

NFC濃度の調整に用いられる糟糠類の多給や極端な高蛋白・低NFC飼料給与による尿石症の発症に注意が必要です。本成果は但馬牛去勢肥育マニュアルのバージョンアップに活用します。